

タイの医療事情 - デジタルヘルス分野 - 遠隔医療

- タイは 2018 年より、8つの州の農村部にある32の病院で遠隔医療プログラムの開発を開始した。
- この遠隔医療プログラムは、保健省と全国放送通信委員会（NBTC）の共同の取り組みであった。保健省の eHealth Strategy（2017-2026）で述べられているように、遠隔医療用の適切なデジタルテクノロジーの使用の統合と促進も、デジタルテクノロジーによるヘルスケアへのアクセスを増やす Thailand 4.0 計画の一部である。
- 初期段階で 1 億 8,000 万バーツの予算が遠隔医療用のデジタル機器の購入と設置に割り当てられていたとのことである。このプログラムは、タイ全国の病院で対応している症例の70%以上を占める、高血圧、糖尿病、心臓病、皮膚病の4つの主要疾患にフォーカスしていた。遠隔医療プログラムに関与する最初の32の病院は、15の地区の健康増進病院、5つの地域病院、8つの地方病院、および4つの主要な健康クラスターで構成されている。
- 2019年3月には、8つの病院のネットワークを持ち、バンコクデュシットメディカルサービス（BDMS）が所有するタイの民間病院ブランドであるサミティヴェートホスピタルグループが、遠隔相談や薬の配達などのサービスを提供するワンストップ仮想病院アプリを立ち上げた。
- Samitivej Virtual Hospital のサービスでは、事前の予約は必要なく、いつでもどこでも患者は遠隔で医師や看護師、薬剤師とコミュニケーションが取れる仕組みとなっている。¹

出所：

1. Healthcare IT News” Thailand launches telemedicine programme in rural areas” <https://www.healthcareitnews.com/news/thailand-launches-telemedicine-programmerural-areas>